

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害に備え非常用食料、飲料水、備品を一括して事業所に準備する	災害発生時などの非常事態に備える	各入居者の身体状態を踏まえ非常災害時の具体的な避難策(昼夜共)を検討する。又職員だけでの誘導の限界を踏まえて地域住民との協力体制を図る。非常食については、早急に準備する	6ヶ月
2	33	重度期や終末期のあり方について事業所の対応方針を明確にし文書として作成、及び利用者、家族の意向を尊重し方針の共有と重度化された場合の支援体制を整備する	日常の健康管理を徹底し医療連携体制の強化を図り看取りについての知識を深める	入所申し込み時及び契約時に看取りについての意向を確認し事業所としての方針を明確にする。又研修会などへ参加し看取りについての知識、介護技術を習得しホームで出来る事、出来ない事を把握する	6ヶ月
3	8	日常生活支援事業や成年後見制度について利用者、家族に周知徹底を図るためにも利用開始時などに情報提供を行なう	利用申し込み時や契約時また地域運営推進会議等で積極的に啓発を行なっていく	研修会等に参加する事で知識を深め必要と考えられる利用者などが、周知しそれを活用でき関係機関へつなげられるように努める	6ヶ月